

第1次佐久穂町行財政改革大綱  
(案)

パブリックコメント  
実 施 結 果

平成27年3月

## 1 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 平成26年10月24日（金）～平成26年11月7日（金）
- (2) 案の公表方法
  - ①町ホームページへの掲載
  - ②佐久庁舎2階総務課財政係、八千穂庁舎総合窓口、生涯学習館での閲覧
- (3) 意見募集方法（指定様式あり）
  - ①総務課財政係へ持参
  - ②郵送
  - ③ファックス
  - ④電子メール

## 2 意見募集の結果

- (1) 提出された意見 71件・12名
- (2) 頂いたご意見・ご提案とそれに対する町の考え方 別紙のとおり

## 3 意見募集の趣旨

町では、平成26年度から平成32年度までの7年間で推進期間とする第1次佐久穂町行財政改革大綱を策定します。

今、合併に伴う財政上の支援が縮小、終了が近づきつつあること、社会が著しく変化している中で、こうした変化に対応していくためには町も変わらなければなりません。住民の皆さんとともに当町の状況を正しく認識して、知恵を出し合って解決していく姿勢が大切です。役場をより透明にして仕事の進め方や考え方を変えていく必要があります。住民と行政が信頼できる関係となるよう、そして一体感のあるまちを目指すため住民の皆さんからご意見を募集しました。大勢の方から多数のご意見をいただき、ありがとうございました。

## 4 ご意見への回答にあたり

ご意見募集から公表までに時間が経過しており、大変申し訳ありません。

今回の第1次佐久穂町行財政改革大綱は削減中心となっておりますが、最終目的は自主・自立（自律）です。大綱は議論のきっかけです。当町の置かれている状況について情報を共有し、まず自分自身の問題であることを認識することが重要です。そこから、町民の皆さんとの真剣な議論につなげていきたいと考えています。

今、世の中の流れが、地方創生へと向かっています。これを機会に、大綱により生み出されたお金の有効的な使い方や、地方創生と次の町総合計画に向けた議論へと、次のステップに進めていきたいと考えています。

町では行財政改革の実践に向けて、大綱の進捗管理を行い、その結果を公表していきます。また、あらゆる機会を通じて住民の皆さんのご意見をお聞きしながら進めていきますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

意見番号	関連箇所		町 の 考 え 方
	区分	頁等	
1-1	大綱	全体	将来にわたって佐久穂町を発展させてゆく道筋にはなっていない、というご指摘に関してはその通りです。この大綱策定は議論のきりかけです。次のステップとして佐久穂町としてあり続けるための方策を皆さんとともに考えていきますので、ご理解をお願いいたします。
1-2	大綱	14～16 ページ	ご意見ありがとうございます。ボランティア組織やNPOの育成は大切であると考えています。また、当町でどのような形による「協働」が可能なのか考えていきます。

頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）

大綱について、役場での閲覧及び区長会での説明を受けましたが、10年後にどの様な町になっているのかこの大綱からは読み取ることができません。5億円の収入減をいかにか捻出するかに終始しており、将来にわたって佐久穂町を発展させてゆく道筋にはなっていないと思います。大綱に記載されている対策は、取らないよりは取った方がいいと思います。大綱に記載されるかと思いますが、10年後15年後にはまた同じ様な問題になり、縮小均衡、縮小均衡の道をたどるのみで、いずれ行政区分より佐久穂町の名は消えさるのみと思えます。佐久穂町が今行わなければいけない事は、産業を興し若者がこの地で生活が出来る環境を作ることそれが行政の役目であると思えます。

又、「協働」という言葉が多く使われていますが、この様な一見美しい言葉で問いかねられ、これまでも、いつか心に響きません。この言葉は欺瞞だと思えます。なぜなら、これまでの日本の行政は、古き良き日本の伝統を壊し核家族化等を推し進めてきたその弊害が地方に噴き出しているからです。若者が少なく高齢者ばかりの人口構成で、どの様な協働が出来るのでしょうか？私は協働ではなく、いかにボランティア組織を作り込む事かと思えます。

- ①草刈りボランティア（公園・歩道の草刈）
- ②除雪ボランティア（歩道・生活道路の除雪、地区に小型除雪機を複数整備）
- ③学童指導ボランティア等々です。協働ではなく多くのボランティア組織の育成や、NPOの育成が大事と考えます。

意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
1-3-1	その他	その他	<p>頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）</p> <p>佐久穂町を発展させる為は何をなすべきか。私は農業改革と観光事業だと思えます。農業改革とはどのような事かと言うと稲作中心の農業より思い切った農産物の転換だと思えます。</p> <p>提案 私は200ヘクタール規模の花弁生産団地を作らばと思います。 ①50ヘクタール規模のメインのガラス温室ハウス ②通年の花卉栽培（100品種位）を行い、観光客への販売及び全国・世界へ向けての出荷及び農産物直売所などを併設する。又、全体を見渡せる観覧車を作る。 ③地区区内に10～20ヘクタール規模のガラス温室ハウス団地を5～10ヶ所作る。尚こちららには出荷専門とする。 ④佐久穂町の生花の大供給基地であり、佐久穂町ブランドの生花で日本・世界を席巻すると言う事です。そして、これらのハウスのエネルギーは、太陽光発電と風力発電及び化石燃料のベスタミックスで賄う。いわゆるエネルギーの地産地消です。 ⑤①各ハウス団地に2,000kw～5,000kw太陽光発電の設置。 ⑥②10～15機の風力発電の設置。 ⑦③不足エネルギーを化石燃料で賄う。 ⑧④佐久穂町の風景を一変させたいという事です。この様な大規模花弁団地になるとそれ甲府、勝沼の桃・ぶどうを想像してください。この様な大規模花弁団地になるとそれ自体が観光の目玉となり、この目玉を利用して八千穂高原等々、佐久穂町の観光スポットを繰と面でつなぐ事が出来ると思えます。プルーンとか花弁、八千穂高原、スキー場、ゴルフ場、奥村士牛記念美術館等良いものをたくさん持っています。規模が小さく点で散在してあり観光客が訪れないのです。これらの観光資源を有機的に結び付ける事により観光客を年間100万人呼び込みます。仮に1人10,000円使っていたら、100億円のお金が動きます。</p>

ご意見ありがとうございます。今後の産業振興対策を  
考えていくにあたり、参考とさせていただきます。

意見番号 1-3-2	関連箇所 区分 その他	<p>頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただいています）</p> <p>（続き）</p> <p>お金はどうするののか 私は放射性物質の最終処分場に立候補すべきだと思います。最終処分場を作る事で、各種補助を国から受ける事です。最終処分場という、「危険」だとか「風評被害」を心配すると思いませんが、逆にこれを逆手に取った宣伝を全国に向けて行うべきだと思います。</p> <p>例えば下記のようなキヤッチコピーです・・・！ 「私たちが佐久穂町はあえて危険と言われる放射性物質の最終処分場を作る事にしました。私たちはこの豊かな佐久穂の自然をそして日本の自然を将来に残したいのです。危険を危険のままでもせよこの豊かな自然を残せるでしょうか？ 私たちは人の能力と・科学、そして何よりも人と人の信頼を信じます。危険な物を安全に管理してこそ豊かな自然を将来に向けて残せるからです。」</p> <p>否定的な人がよく言われる事は、 ①セシウムの半減期は3万年とか ②そんな長い期間の中では何が起るのか分からないとか ③大地震とか大噴火等の時どうするのか等々です。</p> <p>私はこれからの議論は反対がための反対の議論と思いません。これほど人の進歩や科学の進歩を懸念する議論はないと考えるからです。なぜならば、人は必ず放射能を無害化する方法を見つけて出す事ができると思っています。（例えばある種の触媒で） 又、仮に近い将来それが出来ないとしても、100～150年程度の時間で、これらを空に浮かぶ「月」に持って行く事ができると思っています。月を最終処分場にするとこの事で浮かぶ「月」にターゲットを構想をご存じですか、この技術は2050年には実現可能と試算されています。上空36,000kmに宇宙プラットフォームを作りそこから月へのシャトルを飛ばすのです。故、佐久穂町は概ね200年の間、「この放射性物質をどの様に管理すれば良いか」という事です。私はこのくらくらの期間であるならば、建物の強度、自然災害の確立等々を加味しても十分に管理可能な期間と考えます。</p> <p>株式会社運営です。町、農協、商社、生産者が会社を設立して事業を行うのです。商社にまかせているのは、全世界に向けて輸出をしたいからです。彼らのノウハウは経営に十分に生かせると思います。プロジェクト発足時から参加させるべきと考えます。又、株式会社組織にするのは、一般からも資金を集めたいからです。</p> <p>売上高：1,000億円、経常利益100億円、純利益60億円を生み出す。 雇員数：500人</p>	町の考え方
			<p>最終処分場は難しいと考えますが、それくらい画期的なことを考えていかなくてはならない、というご意見であるとさせていただきます。ご意見ありがとうございます。</p>

意見番号	1-4	関連箇所	頂いたご意見とご提案 (字句については原文のまま表記させていただきます)	町の考え方
	活動計画書	区分 13・15 ページ	<p>トについて コストカットされているコストカット事項は重箱の隅をつとく様な内容でその効果及び継続性に疑問を感じます。いずれも革新的な構想とは思えません。いわゆる粒が皆小さいと言います。私以下を提案します。</p> <p>①役場の業務はどしどし行政で行わなければいけない事のみにし、他は民間に任せたらよいかと思えます。行政で行う業務は以下で十分かと。</p> <p>1) 戸籍に関する業務 2) 税金に関する業務 3) 教育に関する業務 上記以外の業務は全てお金も含めて民間に移管する。例えば・ 1) 商工に関する事は商工会で全て取り行う。 2) 農業に関する事は農協等の団体に。 3) 土木に関する事は町内の土木関連企業で共同組織を作り事業を行う。 4) 健康・福祉は社会福祉協議会の様な組織に。 等々です。今盛んに言われている国から地方に税金の移管を行い、地方の実情にあった運営を行う町版です。例えば、ある区のケースでいったならば、区活動費として町より約145,000円程支給されています。これを500万円ぐらい配分しその代わりに区内の道路・街灯・運動施設・公園管理等を全て区に任せると言う事です。 今すぐ民間に移管し止める事としては以下を提案します。</p> <p>①保育園を民間に移管する。 保育園を行政で行う必要がどの程度あるのでしょうか？現在対象幼児ほぼ全員が保育に入園しています。民間の幼稚園で幼児教育を行えば良いと思います。幼稚園費と保育園費の差額を各対象家庭に補助すれば父母から不満は出ないと思います。又、保育ママ制度も一考の余地があるのでは。</p> <p>②千曲病院からの撤退 佐久の地は医療機関に恵まれた地域です。町立の病院が必要か疑問です。千曲病院が無くとも、十分に医療環境は維持でき、町民の健康への影響はないと思います。</p> <p>③町営住宅を民間へ売却 民間に売却すればよいと思います。空き部屋がいっぱいあり効率的な住宅運営をしているとは思いません。民間に売却し、民間の活力でもっと営業をしていただいた方が入居率も高まればよい人口減にも貢献できるのでは。</p> <p>④提案の目指すのは、行政版の「西武の堤氏」であり「ダイエーの中内氏」です。堤氏は荒地の軽井沢を日本有数のリゾート地に又、中内氏は日本にスーパーマーケットの概念が無かった時に松下産業と喧嘩をしてまでも日本にスーパーという小売の方法を創造した人です。彼ら先人は時に奇人・変人呼ばれをされたと思えますが、新しく物を創造すると言う事はそのくらしいの覚悟と先を読む力が必要だと佐久穂町もこれを良い手本として、風景が一変した町を作り上げようではありませんか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。事務効率化や効率的かつ効果的な組織づくりにあたり、参考とさせていただきます。</p>

意見番号	関連箇所		町 の 考 え 方
	区分	頁等	
2-1	活動計画書	13～17ページ	意見番号「1-4」のご意見と関連がありますが、本来行政がやるべき業務はどこまでなのか、検討を進めていきたいと考えています。
2-2	活動計画書	13・17ページ	人事評価制度の導入は必須となっております。導入により、職員のモチベーションアップと、能力開発につなげていきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。
2-3	活動計画書	10ページ	ご意見ありがとうございます。住民サービスの向上に向けて検討していきます。
2-4	活動計画書	21ページ	適正な管理を行いつつ、見直しにあたっては、実態をよく把握し、地元のご意見を聞きながら進めていきます。
2-5	活動計画書	22ページ	住民1人ひとりの小さな努力が大きな結果を生むのがゴミの問題です。ゴミの減量化に向けて引き続き住民の皆様へ周知していきます。平成27年度から事業系ゴミ袋の値上げを行います。ご理解をお願いします。
2-6	活動計画書	38ページ	ご意見ありがとうございます。今後検討を進めていきます。
2-7	活動計画書	1ページ	時代の流れとともに、内容と目的を再検討し、佐久穂町としての保健推進員を作りたいと考えています。まちづくりの一端を担う団体になればと考えています。
2-8	活動計画書	73・88ページ	ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、融通し合うことで町全体の経費の削減につながると思いますが、方法等を含め検討していきます。

意見番号	関連箇所		頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）	町の考え方
	区分	頁等		
2-9	活動計画書	73・88ページ	現在行っている健診は、空いた学校校舎で行うことはどうでしょうか。カーテンで区切るより小さい教室で区切っての方が安心できます。	学校跡地の検討を進める中で、参考とさせていただきます。
2-10	活動計画書	73・88ページ	スタインベルクのピアノが八千穂福祉センターの2階にありますが、その環境は適しているのでしょうか。イベント時の出入りは負担はありませんか。	スタインベルクの歴史とセキユリティの関係で、現在の場所となっておりますので、ご理解をお願いします。
3-1	大綱	全体	佐久町・八千穂村合併以来、最大の課題を迎えようとする現在、このような形で町として指針を示し、住民に意見を求めようとするのを歓迎し、活発な意見交換が実現できることを望みます。こうした財源問題については、合併当初から予想した問題であるとはいえず、現実には直面的に捉えられないこととしたいと思います。今対策を講じておこなうべきかというつかない事態を招くこととでもありますが、同時に、しっかりと住民が理解し、難局に結束して対応することとができるならば、むしろ望ましいチャレンスの面も広がるのではないのでしょうか。	1人でも多くの住民の方が、そのように考えてもらえればと願っています。
3-2	大綱	全体	（要望）意見応募期間があまりにも短いので、締め切りの期限を延長して欲しい。第1次佐久町行政改革大綱（案）（以下大綱案と呼ぶ）は膨大な内容で網羅するとはいえ、詳細な内容には踏み込んではいけません。住民説明会も始まったばかりであり、住民の意見はもっと多くうけつけられるように配慮をお願いします。	いったんは大綱を完成させなければならぬが短くなつたため、全体スケジュールの中で意見募集が短くなつてしまいかけてしまいました。申し訳ありません。大綱策定は議論のきくべきこととありますが、今後住民の皆様と真剣な議論をしていくことで、ご理解をお願いします。
3-3	活動計画書	44～66ページ	P44「区長会補助金事業」5%、「さくほほいずら事業」10%、P45「防犯協会活動事業補助金」5%、「交通安全協会活動事業補助金」5%、P47「男女共同参画事業補助金」10%、「更生保護女性会補助金」5%等、一律に5%・10%補助金を減額するという方針が示されています。もつと現状を分析して、大胆に切り詰めるところとあるいは現状維持やむしろ増額もありうるよう望みます。	この度の定率による減額は、見直しに向けた第1段階です。平成27年度において、補助金等に関する政策研究チームを立ち上げ、全ての補助金について、そもそも適正であるかなど観点から見直しを行いますので、ご理解をお願いします。なお、政策研究チームに関する説明は、意見番号「6-3」を参照して下さい。
3-4	活動計画書	1ページ	P1「地域の健康づくり員活動」八千穂村での衛生指導員活動が現在の地域健康づくり員の活動に継続され、地域から男性の役員が保健推進にかかわってきたことがこの町の特徴であり、これまでの健康づくりを担ってきたのは事実だと思います。活動のあり方、地域役員の選出方法など検討すべきことが多くありますが、これまでの伝統と良い面を生かしながら今後の活動を追及すべきかと考えます。	時代の流れとともに、内容と目的を再検討し、佐久町としての保健推進員を作りたいと考えています。まちづくりの一端を担う団体になればと考えています。



意見番号	関連箇所		頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）	町の考え方
	区分	頁等		
3-5	活動計画書	4・43ページ	P4「区活動助成金交付事業」区の数が人口の割に多く、世帯数や構成人数に大きな差があり、再編整理を行い、20～30位の区にしたかどうかと思えます。	高齢化と人口減少等により、現状のまま維持していくことは難しいと考えています。地域の皆さんの意見、区の成り立ちや歴史に配慮しながら、再編等を検討していきたいと考えています。
3-6	活動計画書	6ページ	P6「男女共同参画事業」町が本気でこの事業を推進するならば、まず町役場でこそ先頭に立つべきであり、先ずは女性の管理職を配置すること、そのために何が課題なのか検討検証すべきです。また、県・他の市町村の状況も研究すべきではないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。今後検討を進めていきます。
3-7	活動計画書	38ページ	P38「図書館運営事業」この町の図書館の施設や蔵書、運営方法は周辺からも評価が高いところにあります。町の姿勢と職員の努力が実を結んでいると思えます。①専任の図書館長の配属を求めます。②単純に経費の削減や車両の削減することには疑問を感じます。	ご意見ありがとうございます。②について、図書館の運営上、可能な範囲での見直しと考えていますので、ご理解をお願いします。
3-8	活動計画書	49ページ	P49「太陽光発電システム設置補助事業」補助金の廃止については仕方ない事かと思えますが、自然エネルギーをどう活用できるのか、研究・検討が必要だと思えます。	ご意見ありがとうございます。調査・研究を進めていきます。
3-9	活動計画書	59ページ	P59「商工会活動補助金」単純に補助金を減額するという方針には疑問を持ちます。町の繁栄の基盤が町内商工業の活性化にこそあります。ただ補助金を出せば良いというのではありませぬが、効果の検証を行いなから事業を考えて欲しいと思えます。	町内の経済活性化のため、商工会独自の施策を展開し、補助金が有効活用できるように支援していきます。
3-10	活動計画書	60ページ	P60「佐久穂町観光協会補助金」佐久穂町にとって観光事業は大切ですが、観光協会のあり方・事業については検討が必要だと思えます。直ちに大幅な補助金を減額したりすることは無理として町との関与を少しずつでも減らすべきでしょう。大綱案にあるように自立に自立とは何を指すのか不明なところもありますが、例えば事務局長を自前で置くなど考えるべきだと思います。	観光宣伝やイベント等にしても町が中心になって進めるのではなく、観光協会独自の活動につながるよう、支援していきます。
3-11	活動計画書	65ページ	P65「人権同和教育推進協議会補助金」本当に必要な補助金なのか、精査し差し支えなければ早期になくしても良いのではないかと。	平成27年度において、補助金等に関する政策研究チームを立ち上げ、全ての補助金について、そもそも適正であるかなど観点から見直しを行います。なお、政策研究チームに関する説明は、意見番号「6-3」を参照して下さい。
3-12	活動計画書	68ページ	P68「町税の収納業務」町職員だけでなく、民間の関与も検討できないか。	個人情報と費用対効果の観点から、現段階においては難しいと考えています。
3-13	活動計画書	76ページ	P76「佐久庁舎・八千穂庁舎管理事業」庁舎の老朽化もあり、改築の必要もあってもいいが、当面経費削減を考えれば1つに庁舎統合するのが良い。ただし、町民の利便性をはかることを考慮して。	住民の利便性や建物の老朽化、効率的な行政運営など、現在の分庁方式には課題があると考えています。合併時の経過等を踏まえ、慎重に検討を進めていきます。

意見番号	関連箇所		町 の 考 え 方
	区分	頁等	
3-14	活動計画書	88ページ	スピード感がない、というご指摘については、その通りです。申し訳ありません。学校跡地に関して、平成27年夏頃までには町の考え方をまとめたいと考えて進めています。
4-1	大綱 活動計画書	全体 35・85ページ	今後予想される収支不足及び新たな投資は、一部の事業の見直しで対応できつつあるものではありません。そこで、既存の事業をまたたくの白紙に戻し（スクラップ）、当町として真に必要な事業のみを再構築（ビルド）、していくことを、進めていきます。
4-2	活動計画書	28ページ	公費の範囲については、それぞれ考え方がありと思います。現状の補助金額でご理解をお願いします。
4-3	活動計画書	13・15ページ	行政が行っている業務あるいは行政自体のスリム化につきましても、どのような方法が可能であるのか、検討を進めていきたいと考えています。

頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）

P88「公共施設等のあり方検討」学校跡地利用については検討委員会からの答申も出ているのではないのでしょうか。それに対する町（町長）の考え方を示して欲しい。他にも町への提案や町としても考え方を提示してもらいたい。未だに研究チームの立ち上げというのとはどう違うことなのか。今ままで何もしていない様に感じてしまいます。

今後の財政を見ますと、かなり厳しいことが分かります。大胆な改革をしていかねければ、自治体消滅は避けられないかと思えます。「あつたらしいもの」を残すことは厳しいと思えます。「どうしてもなけれならぬもの」をまです選択。他に、5年後10年後の未来を獲得していくものに投資していくことがどうしても必要と感ずます。スキー場と奥村土牛記念美術館は断腸の思いですが、廃止はやむをえないかと思われれます。

インフルエンザ予防接種の助成は手厚くして地域全体で封じ込める策が必要かと思われれます。仕事の欠勤などを考えたいと思われれます。

これは大胆な策ですが、「行政」と「行政事務」を将来的に分ける。行政マンの方が日々事務仕事の追われていると感じています。行政マンは本来事務屋ではないのか。アメリカの10万人の市で職員がたった4人という市があるそうです。（消防や、教師、市長などはこの数にカウントされません。一般行政職員の数です）この4人は「行政」に徹する。行政事務は全て民間委託。これによつて行政運営コストは格段に落ち、民間のスピードとあいまって、住民税も格安になり、移住者も増えたと聞きます。これは極端な例ですが、行政事務の一部からでも民間委託し、将来は佐久穂町に行政含めた民間事務を委託し、請け負う小さな会社が無社かできて、そこで雇用も生まれると思います。経営において、コスト削減とか1割売りを伸ばす、というのが最も改善を鈍らせる目標だと思います。この設定です。「今の形でちよつと頑張ればなんとかなる」と思われてしまいうからです。根本を立て直すのであれば、5年で3倍の売り上げに伸ばす。3年でコスト半分にする、くらの目標設定でなければできないと思えます。

意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
4-4	その他	その他	<p>ご意見ありがとうございます。国から一括交付金（農業、道路事業等含めた）のよう形で交付されています。現状の制度であれば本来望ましいと考えています。現状の制度で考えているのは補助金は有効的に活用したいと考えていますので、ご理解をお願いします。補助金とは別に、どうやったら食っていける農業、町の特産を生かした農業ができるか、町全体の農業のあり方を考えていきますので、様々なお立場からご意見を頂きたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
4-5	大綱	14～16ページ	<p>スピード感がない、という指摘については、その通りです。申し訳ありません。どうやったら食べていただける農業、町の特産を生かした農業ができるか、町全体の農業のあり方を考えていきますので、様々なお立場からご意見を頂きたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
4-6	その他	その他	<p>空家対策・移住対策については、今まで手薄になってきた分野であると考えています。平成27年度からは、地域おこし協力隊の制度等を活用しながら、進めたいと考えています。</p>

頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）

新規就農の青年給付金事業の効果の薄さ。たった10数人に対して1500万円の支出と、獣害対策で1200万円の支出、バランスの悪さを感じました。全国あちこちからこの事業に対しての結果の声が出ていますが、「8割がたは意味ない事業」という声が上がっています。もちろん2割良ければ良いという評価の仕方もあります。「国がこの事業を始めたら」ということで地方自治体が振り回されるというのがあるが、「まずはこの町をどうしようか」という姿勢を一度排除しなければ難しいなと感じました。委員の1人として感じるのは、「肩書」で委員を選出してしまふ事の危うさです。町には農業経営において優秀な方がいらっしゃる方々もいます。農業で生きていくとは何なのかと分かっている方々もいます。

担い手という便利な言葉で一括表現されていますが、それはこの町では「撤退戦略を担う者」という意味合いが強いかと感じます。今までの形の農業をそのまま変えている今、それは非常に難しいことです。国の食糧戦略と町の農業支援と農家の支援という認識を持って臨むしかないと思います。松井や頭無などの広大な土地利用型の農業はこれからは当然でも必要で、平地では一部可能かもしないかもしれません。しかし佐久穂町ではどちらにも当てはまらない中山間地が圧倒的であって、ここで専業で子育て世代を育むには、「今までの佐久穂町になかったタイプの農業」が必要なのではないでしょうか。「新規就農センターをもう少しスピーディーできたら」と提案しています。

移住者を増やしたいにしても住むところが一番痛いのです。4人目のスタッフの家を借りたのですが、民間のアパートもないので、結局小海町に見つけることになりました。空家など積極的に介入して、移住促進を急がなければと思います。

意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
5-1	活動計画書	15ページ	町職員の削減または人件費削減 佐久町と八千穂村の合併当時180名あった職員数が10年間で33名しか減少していない。民間企業であれば、合併によって数年間で同一業種の3割～4割の人員削減は必然とも言える。町が本気で身を切る改革をせずに町民にサービス低下を要請しても誰も納得しない。町職員の削減のためには、町民の人事委員や公平委員会のある町に比べて、町財政の現状を考慮しない旧態依然とした対応だけでは存在意義がなくなる。人員削減ができれば人件費の総枠を町財政に合わせるべきで、「現状の8割程度を保障し、町財政が黒字化したら上積み支給する」といった新しい成果主義的な考え方を導入すべきであると思う。国も実施できない人件費削減(行財政改革)を成し遂げたい。中山間地のトツプランナーになりたい。思い切った人件費削減ができれば、無くなるところ地方自治体のトツプランナーになることは避けたい。行財政改革の1番目に大幅な人件費削減ができれば、大言壮語で住民を惑わせるよりも、早期に佐久市に吸収合併して頂けるように、嘆願書を作成するのが最も現実的な対応策だと思ふ。
5-2-1	大綱	6ページ	住民増加対策を考えていくことは重要であると考えています。同時に人口減少を念頭にいただいた施策を検討していくことも重要であると考えています。
5-2-2	その他	その他	空家対策・移住対策については、今までで手薄になってきた分野であると考えています。平成27年度からは、地域おこし協力隊の制度等を活用しながら、進めたいと考えています。
5-3	その他	その他	ご意見ありがとうございます。今後の産業振興対策を考えていくにあたり、参考とさせていただきます。

意見番号	関連箇所		町の見え方
	区分	頁等	
5-4	活動計画書	75ページ	ふるさと納税については、平成27年度から特産品等による謝礼を検討しています。府中市との交流事業は、町の発展につながるかと考えていますので、今後新たな取り組みを進めたいと考えています。
5-5	その他	その他	空家対策・移住対策については、今まで手薄になってきた分野であると考えています。平成27年度からは、地域おこし協力隊の制度等を活用しながら、進めたいと考えています。
6-1	大綱	全体	いったんは大綱を完成させなければならぬが、短くまとめ、全体スケジュールの中で意見ありませぬ。大綱策定は議論のまじりかきであり、今後住民の皆様と真剣な議論をしていくことが目的です。随時評価・見直しを行っていきませぬ。
6-2	活動計画書・特別対策プラン	全体	市町村については、行政が行っている事務事業の詳細を公開しているところもありますが、当町ではその段階に達していません。早期に公表できよう、進めたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）

インターネットを活用した「ふるさと納税制度」でのお礼として、特産品の宣伝・販売や観光紹介やスキューバ・リゾート券の提供（実質的には販売）で新たな客層の開拓を推進すべきだと思ふ。姉妹都市の府中市にも協力要請して、佐久穂の各種産物の出張販売（出張・町の駅）などの人的・物産的交流も推進して、名実ともに姉妹都市と言え「府中市のふるさと佐久穂町」を目指すとともに、リタイア後の府中市民の移住受け入れ体制を整備してはどうだろうか。

住みたくなくなる佐久穂町の創生には、小中一貫校や待機児童ゼロという教育環境の充実が子供の養育世代には大きな魅力になると思ふが、町営住宅などの居住環境の整備不足が問題となっている。先述の管理された空家を「借上げ町営住宅」として提供することによって、居住者の増加（町民の増加）対策を推進すべきだと思ふ。また、高齢者にとつては年金減額などで収入減少が大きな悩みとなっている。この問題に対応するためにリバースモーゲージの導入を検討してみたい。リバースモーゲージの導入によって、高齢者は安定した収入が得られ、町は空家対策と居住家屋（町営住宅）の安定供給が可能になり、町民の増加対策も可能になると思ふ。

意見募集期間について  
本「大綱（案）」はその内容が多義に亘るため、募集期間が2週間では十分な説き下しや住民の意見聴取は困難であり、意見募集期間を延長して欲しい。（最低でも1ヶ月以上）

各事業項目の現状の支出額の開示について  
活動計画及び特別対策プランに実施したい事、概算の削減額が表示されているが、歳出を見直す事業項目については、削減予定額だけでなく各事業や公共事業、補助金項目の現状の総額（過去3年の平均値等）を情報提供頂きたい。それぞれの項目は個別の目的で助成金が出されて居たものであり、その目的と効果、活動内容を把握出来なければ的確な意見は申し述べられませぬ。お手数ですが、こうした各事業の助成目的と活動内容についても情報を開示して頂きたい。

意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
6-3	活動計画書	2・4・11・15・16・43・69・70・73・74・88ページ	<p>「政策研究チーム」とは、中堅・若手職員の先進的かつ柔軟な発想を活用して、町の抱える政策課題に対して、行政改革推進本部への政策提案や事業の研究を行うことが目的となっています。自らの業務あるいは業務以外の立場から役場人として、町を考えることを目的としており人材育成の一環ともなっています。</p> <p>①構成員は町職員のみとなり、全ての職員がいずれかのチームに属することを目的に、当初設置されておりません。</p> <p>②将来的には、発展形として、職員以外から募集することにつながっていき考えています。</p>
		<p>頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）</p> <p>政策研究チームとは？</p> <p>「大綱（案）」の中に何か所か「政策研究チーム」の検討との文言が出てきていますが、</p> <p>①政策研究チームのメンバーはどの様になっていますか？</p> <p>②このチームには大学教授やシンクタンク等の外部メンバーは入っていますか？</p> <p>また、このチームに②の外部メンバー及び公募委員の参加は考えられないか。</p>	

意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
6-4-1	大綱	全体 43～66 ページ	この度の定率による減額は、見直しに向けた第1段階です。平成27年度において、補助金等に関する政策研究チームを立ち上げ、全ての補助金について、そもそも適正であるかなどの観点から見直しを行います。
6-4-2	大綱	全体	大綱策定は議論のきっかけです。生み出されたお金の有効的な使い方や地方創生に向けた真剣な議論を行っていく中で、施策の実施にメリハリをつけていきます。
6-4-3	大綱	全体	大綱策定は議論のきっかけです。生み出されたお金の有効的な使い方や地方創生に向けた真剣な議論を行っていく中で、施策の実施にメリハリをつけていきます。

頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）

メリハリの付いた歳出の削減  
この10年、町は前期後期の基本計画では、「水と緑のうるおい 人の営みが奏でる未来のふるさと」の基本理念の下、住み慣れた街で住んで良かった町づくりを進めてきました。今回提示された「大綱（案）」及び活動計画、特別対策プランにおいては、「どんな町として今後持続可能な町」にしたいのかの方向性が明示されています。永年積み重ねて来た施策の結果、「佐久穂町は素晴らしい」との評価を得ている事項も、他町村も実施している項目だからやっという事項も一律%の削減、分母の大きさに関係なく削減計画が提示されているものが多い様に思えます。同じ5%、10%の削減が事業の死活問題になる事項もあれば、中には存在意義が殆どない事項も含まれている様にも思えます。その意味で中には増額の項目やゼロ査定項目など、もつとメリハリの利いた計画推進が必要だと思えます。

増額又は削減率を小さくすべき項目  
・町のセーラースポイントとして実績を持ち、今後も推進すべき施策（保健・予防施策や教育施策等）  
・定住人口減少に歯止めを掛けるに有効な具体的事業及び特色ある街づくりに資する施策（産業振興、特産品づくり等）  
・表面（公称）利用者で無く実績に基づく実質利用者（受益者）の多い施策  
・町民との協働又は参画を推進する施策  
・助成額が小さく削減により助成効果、事業継続が困難となる事業  
・少子高齢社会の深化に伴う生活基盤の整備施策など

減額又は削減率を大きくすべき項目  
・本来受益者負担とすべき事項の補助金及び助成金  
・重複する町の遊休施設や目的・効果の減少した施設及び助成施策等の整理改廃  
・町の直営事業の見直し（老健施設等）  
・町づくりにや長期的利用見込に基づく、道水路整備や公共事業等の投資的施策の見直し削減  
\*検討データや期間が少なく個別の検討や意見提示は十分でない。

意見番号	関連箇所		町 の 考 え 方
	区分	頁等	
6-5	活動計画書	4・43 ページ	現在の「区」制度において、課題があることは認識しています。区の成り立ちや歴史から難しい面があるため、活動計画を平成32年度としていますが、早期の実施に向けて取り組みでいきますので、ご理解をお願いします。
7-1	その他	その他	小海町のPネットのようなポイント制度を佐久穂町でも作ったらどうか。理由として、町にお金を落とすと自分達も潤うんだという意識づけがポイント制度によって促せる。消費意欲が上がる事で消費高も上がり、税収も上がる。雇用を創出するのは時間と労力がかかりますが、ポイント制度はあるものを活用して効果を上げられるもののひとつとして考えられます。
7-2	その他	その他	町で針葉樹、広葉樹の燃料スタンドを作る。そしてその元になる燃料樹は、住民自ら切り出し、地域通貨と交換する仕組みとする。しかしながら燃料の殆どは国と海外の収益となり、地域に落ちる収益はごく僅かです。地域には燃料樹林が豊富にあるのでそれを活用すべき。また住民自ら木材を切り出し、地域通貨と交換する事で消費循環率を更に上げる事もできる。
7-3	その他	その他	集落ごと空家支援員という配役を置き、支援員が中心となって空家情報を町に提供する仕組みはどうか。理由として、空家の情報を一番よく知るのにはそこに住む住民。住民から吸い上げられた確かな情報をコミュニティネットワークである町に提供することによって、移住者が移住しやすい環境を整えている事ができる。また、移住者にはその地域にない魅力や要素を持ち合わせたいと思えます。地域リーダー候補や地域リーダーを支える候補になる側面があるかと思えます。時間をかけて育てるのはとても時間がかかりすぎ、戻ってくるかは不確定です。時間をかけて育てる仕組みとして、移住促進事業は町づくりに風を起す重要な一面があると思います。



意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
8-1	活動計画書	76～88ページ	公共施設等の適正な管理を行っていきます。
8-2	活動計画書	68ページ	町内事業者の育成のため、特殊な工事等は除き、町の工事・メンテナンスは町内の事業者が関わるようにしています。
8-3	活動計画書	69～70ページ	現在、政策研究チームのひとつである、公共施設のあり方プロジェクトチームの中で、学校跡地について検討しており、平成27年度夏頃までには町の方向性を決定する予定です。
8-4	その他	その他	空家対策・移住対策については、今まで手薄になってきた分野であると考えています。平成27年度からは、地域おこし協力隊の制度等を活用しながら、進めていきたいと考えています。
8-5	活動計画書	12ページ	まさにその通りです。活動計画書にある通り、評価結果と事務事業改善、予算を連動させ、実効性を高めていくことにより、PDCAサイクルの確立を目指します。毎年の評価制度を発展させながら定着化を図ります。

意見番号	9	活動計画書	31・77 ページ	<p>頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）</p> <p>小学校の放課後の学童についてお願いがあります。今は年間1000円の負担金で運営されていますが、来年度は月額1000円から2000円になるかもしれないといふ話を聞きました。子どもが数人いる家はそうなるはずいぶん負担が大変です。来年度も現状の年間1000円をお願いします。</p>	町の考え方
<p>この度の行財政改革大綱においては、「果たしてで年間額1,000円が適正な金額であるのか検証しよう」という観点から議論がスタートしています。「受益と負担の公平性の確保」が重要な視点となります。料金が安い方が望ましいですが、その場合には経費の不足分は町民全体の税金で賄うこととなりますので、サービスを利用する人と利用しない人とのバランスを考慮しながら、町の関与の必要性を明確にして、負担の公平性を確保しなければならぬと考えています。使用料については、町と受益者の費用負担割合を50%ずつとすることで検討を進めています。</p> <p>例えば旧佐久町公民館での学童クラブは、県補助金を除き町の一般財源として年間約2,062千円がかかっています。費用負担割合を50%とし今の利用者数で計算すると、1人当月2300円と算出されます。従って本来であれば学童クラブの利用者負担は1人あたり月2300円ですが、子育て支援という町の施策の観点において、平成27年度から1人あたり月1000円としています。受益者負担の適正化及び町の施策の両面から検討した結果ですので、何卒ご理解を頂きますようお願いいたします。</p>					

意見番号	関連箇所		町の見え方
	区分	頁等	
10-1	大綱	全体	<p>町税は国による三位一体の改革により地方交付税が減らされてきたことと、シミュレーションを「合併して自立」の道を歩むことで、健全な財政運営に努めてまいります。合併する中、この自立計画が平成22年度をもって計画期間が終了しており、この間現在に至るまで総括を行い住民の皆さんに公表してまいります。平成27年度から普通交付税に係る財政上の特例措置が終了すること踏まえ、平成24年度に自立計画の総括を行い、大綱策定に向けて準備し、今回の説明を行っています。十分と見え、今後の進め方、あるかと思いついていきたいと考えていまして、後継とご協力をお願いいたします。</p>
10-2	大綱	全体	<p>今回の大綱は、「スクラップ&amp;ビルド」の「スクラップ」の側面が強いですが、次のステップとして「ビルド」の部分で真剣な議論を行いたくは、積極的に外部とも連携してまいります。そのために、町職員に外部研修等を継続していくことで町職員の方との話し合いを進めたいと考えています。なお、目標管理について、今年度の進捗管理を毎年行い、その結果は毎年公表することを考えています。</p>
頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）	<p>行政は最初から合併ありきで進めてきたため、合併後も一番肝心な交付税の合併算定替（合併特例交付金・借入金と助成金）について不安を煽るような交付税削減の理由が説明が不十分であった。今回の説明会で住民に納税できる説明がなされたのは、包み隠さず住民に説明し、住民が納得してきているのか、八千穂村、佐久穂町とも役場職員に十分な財務、経理などのスキルがないため合併前に必要な研修、勉強会などを開催し、合併後、合併した後の住民の責任を重くし、合併で負担が増えることについて説明し、合併で負担が増えることを防ぐよう行政を主導して欲しかった。中立な立場で合併を推進する者が、合併しなかつた小海町以南の町村では極端な変化もなく従来どおりのサービスが行われてきたように思われます。</p>		
佐久穂町は、色々な面で帯に短し褌に短い町であると思います。見方、考え方で色々な可能性を秘めている、あるいは何にも特徴のない町とどつちともいえる。佐久穂町の住んでは佐久穂で生まれ育ったか、近隣市町村出身者で、県外で働き住んでいない井の中の蛙が多く、町議会の客観的に見られる佐久穂周辺しか知らない。特に役場の職員、町議会は今後を考えたいので価値感、考え方が同じで発想が偏ってしまふ。町の今後を考えた場合、町の内容、内情を良く知ることが大切。かつ客観的に見られる人（学者、専門家は頭が固く偏った見方しか出来ないの）でダメ。町の見え、考えを参考に活動（案）のまとめ、優先順位付け、各項目毎に目標を設定し納期に合わせたロードマップを作り実施と進捗管理できるようなチーム作りが必要。今回行う施策は4億円削減と目標管理方式を導入実践しない、余計な事を逆算して目標を達成させる目標管理方式を導入実践しない、余計な事をしない、事になり期限内に間に合わない。データに基づき検証をしないで導入した合併のよきな轍を踏んではならない。			

意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
10-3	その他	その他	<p>頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）</p> <p>佐久穂町はと考えてみますと（財政面を除いて）比較的恵まれていると思います。自然も豊かで（空蒼く、水が有り特に水はコーヒー、お茶にうるさい人が、水道水でも井戸水と同じレベルと驚かされます）交通網もそこそこ、新幹線駅まで車で30～60分、新幹線に乗れば1時間ちよつとで都心まで行かれます。本数は少ないものの、千曲川に沿って鉄道もあり佐久市周辺の鉄道のない地域の学生、保護者に比べ思われています。道路もR141を中心に整備されており全国平均的レベル以上で、高速道へのアクセスも良くなっています。（小さな町にインターは2つも要らないが）スーパーや病院も菌医者も近くにあり、高度医療、高級品を求めたりしなれば生活しやすいと思われれます。農業でも水田を除いて、花卉、果樹、野菜、酪農と選択肢があり帰農され成功されている方もいます。</p> <p>冬の寒さを除けば住みやすいと思えますが、雇用を多く生む二次産業が地元になく、雇用が限られているため跡取り以外（近年は跡取りも）は町外、それ東信は求人が少ないので県外へ出て行き、そのまま戻って来ない方が増加しています。出生率が下がり、若い人が町外に出て行ってしまうため人口が減り、町の活気が失せつつある。若い人にとつては、高齢化が進み地区行事や出役業の負担増が現実化して来ています。</p> <p>今後佐久穂町が活力ある町として存続していくためには、人口減少に歯止めをかける</p> <p>佐久市は今後更に発展が予想される。佐久市に協力し佐久市への企業誘致を展開する。佐久市の地価は高く若い人には購入は難しくなってきた。上記にあるよう生活環境が整っている事をPRして佐久市のベツドタウン化を図る。固定資産税、住民税の増徴、地元商品の利用者増、地域の活性化。</p> <p>*大型造成はせず現在ある既存の区内に5～10戸が建つ造成を行う。 *町内建築業が仕事を受けられる配慮をする。</p>
10-4	活動計画書	88ページ	<p>ご意見ありがとうございます。企業誘致を図っていくにあたり、参考とさせていただきます。</p>

意見番号	関連箇所		頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）	町の考え方
	区分	頁等		
10-5	活動計画書	16～17ページ	<p>仕事の質と給与            学校建設に於ける見積額と支払額の乖離が発生しそうだが、今後このように必要者にならぬよう育てるべく理系、技術系専門学校の採用も願う。コスト削減で給与を下げる傾向にあるが、平均より高給に設定し優秀な人材を集まらなければ職員のモチベーションが低下して仕事に影響が出る。職員の新しい陳代謝が進み、ようやくまともな職員が増えつつあるので、給与を下げて仕事の質で貢献出来るよう指導、教育を願う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。職員の質の向上に向けた職員研修を進め、職員の能力開発と職務改善につなげるよう人事評価制度を確立していきます。</p>
10-6	活動計画書	13・15ページ	<p>外部発注の見直しと監修、監督            建設課の職員が簡単な土木作業を行っていたが、業務の内部取り込みは不要である。企業もそうだが利益がなくなると外部発注業務、作業を社内に取り込む傾向が強くなる。企業の場合、利益が出ない時は仕事を減り余剰人員が発生する場が多くなり、その余剰人員を使える事と監督出来ない外部発注業務への負担増となります。生涯収入から計算すると日給3万円なる人の仕事ではない。建設業務を退職したり作業が出来ない人をスボットで作業して貰う手管、監督、仕組み作りなども現場の高賃の仕事をして欲しい。作業現場の業者から不具合報告がなくても現場を確認せずそのまま作業させ、完成後地権者からクレームでやり直すような職員は民間ではクビです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。事務効率化や効率的かつ効果的な組織づくりを検討していくにあたり、参考とさせていただきます。</p>
10-7	その他	その他	<p>発想の転換と前向きな考え            収入が減る、支出が増えるとなると、必要なものでも減らせないと物事をシミュレーションして行く方向にしか考えられなくなりますが、考え方を変えて捉える事も必要かと思えます。</p>	<p>まさにその通りです。ただし、「収入が減っていく、支出が増えていく」という現状をまず情報共有しましょう、というところで今回の議論はスタートしています。</p>
10-8	活動計画書	16～17ページ	<p>例えば前出でも述べましたが、職員の給与と体列の給与体系を仕事の量、質を加味したものに変える。（モチベーションの維持）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。職員の質の向上に向けた職員研修を進め、職員の能力開発と職務改善につなげるよう人事評価制度を確立していきます。</p>

意見番号	関連箇所		頂いたご意見とご提案 (字句については原文のまま表記させていただきます)	町の考え方
	区分	頁等		
10-9	活動計画書	21ページ	<p>街灯など本数削減などは、夜間現地を確認すれば判りますが絶対無理です。現場を確認した上で項目にあげざるべきで、電力削減とした大枠で捉え他の省エネと平行して行うべきです。高速道路が開くと、犯罪とゴミがやっけてきます。犯罪も都市化した殺し省エネなど重犯罪化します。街灯の点灯時間、センサーの管理方法を見直し省エネを図る。LED化も良いがまだ高い。安い中国製は直ぐ壊れる。・・・防犯上街灯削減は無理かと思えます。</p>	<p>当町が管理する街灯は2372本あり電気が年間1500万円かかっています。その全てを町が負担しています。多くの市町村では、町と地区等の両方で電気を負担しています。もちろん適正な管理を引続き行うことで、経費の削減を図っていますが、先ほどの状況や町の財政状況を踏まえ、見直しはせざるを得ないと考えられます。必要な街灯はLED化すること、電氣代の削減に努め、街灯数については一定の基準をつくり適正化(街灯数の減少)を図っていきまします。街灯を減らすに当たっては、実態を把握し地元のご意見等をお聞きしながら進めていきます。ご理解と協力をよろしくお願ひします。</p>
10-10	活動計画書	78・88ページ	<p>不要な建物を早く解体し、公共施設の集約化を図る。集約により電力、空調で大きな省エネによるランニングコストが削減できまします。また、解体出来る時に石綿などの処分費が高くなり、どうにもならず、管理、維持費の削減しスリム化を造る。企業と異なり建物を造るも利益を生まないもので、造った時点から償却に向けた準備が必要になる。</p>	<p>まさにその通りです。平成28年度までに公共施設総合管理計画を策定する予定です。策定作業の中で検討していきまします。</p>

意見番号	10-11	関連箇所 区分	活動 計画 書	32・ 34・ 35・85 ページ	頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）	町の考え方
					<p>美術館閉館、八千穂高原の町施設全ての委託・売却が案として上がっているよ うですが、もう一度フルイに掛け直し、運営方法の変更等で赤字にならず継続 出来ないか、検討の余地は残されていないのでしょうか。八千穂高原あつての 佐久穂みらいな所があるのですが・・・ 県外から八千穂高原を訪れた人は自然の美しさに感激して帰っていきま す。また、キャンプ場は、県下のキャンプ場の中でも川上の廻り目平に次ぐ人気があ ります。スキー場の方はロケーション、コース長さ、コースバリエーションな どで最初から無理がありません。早く手を打つ必要があつたと思いま す。美術館は近隣市町村の美術館と連携して集客に向けた対策はないものな のでしょうか。外部資本が入ると、利益は地元にあまり落ちず投資した本 体会社で吸い上げられます。方法を変え、利益が出そうなのと、そう でないものを区分（存続、廃止、売却（委託））して存続可能なものは残す事 は出来ないのでしょうか。 他市町村と比較すると、住民、役員職員の気質の違いに驚きます。佐久穂町は ものすごく保守的です。ある市町村は山師、ばくち打ちの気質がありますが ブルトーザーのみみたいないない馬力も持ち併せています。窮地で落ち込むのではなく、 土壇場に追い込まれた佐久穂町も底力を示す時かと思えます。 シュリンク一辺倒の施策方針ではやる気が失せ元気が出ません。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。今後、観光施設等全体のあり方について、運営方法の見直しや町の関与のあり方などを含めて検討していきます。</p>

頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）

町の考え方

行事により、中学生のホームステイ事業は来年度から廃止と聞いて驚いています。他の事業に変わるようですが、このように生きた経験のできる事業は他にないと思われています。

新しい統小中学校では、英語教育に力を入れ、新聞で読みました。英語教育に力を入れるなら、ここの手紙でなく、色々と英語に力を入れたいと思いませんか？新しい校舎で行われるべき事項が、町内の各々が古くも新しい校舎で行われ、しかも5億円という予算が厳しいのに付きまらず、町内の各々が古くも新しい校舎で行われ、しかも5億円という予算が厳しいのに分かっていただくことも、そのツケを子どもたちに負わせることではないか？新しい校舎は、おかしきありませぬ。削減すべきところは削減して、また5億円削減すること、は、おかしきありませぬ。削減すべきところは削減して、また5億円削減すること、は、おかしきありませぬ。

確かにホームステイ事業は多く削減が必要かもしれませんが、先進的に取り組んできた良い事業の内容も削減しなくてはならず、残念なことですが、授業時間数に限りがあり、教科書の中からは英語で授業をするよう求められています。中学に入学してからの子どもたちは、授業で英語の授業をするよう求められています。夢を持って自主的に勉強を促す必要はないか？

36ページ  
活動計画書

ご意見ありがとうございます。様々な検討はさせていきたが、行ける子が行けない状況でした。ご案内のとおり来一部から佐久徳町は、1つの小学校1つの中学校に統合させたいです。お便り等でお知らせしていただきます。が、小学校1年から35時間の英語の授業をスタートさせたいです。9年間一貫した英語カリキュラムの中で児童・生徒の英語教育を充実させて、希望とすれば、卒業する時には自分のふらふらと英語でコミュニケーションを始めたいです。その英語教育を導入するプログラムの費用等にお金を使わせていただきたいので、できるだけ皆さんが公平に恩恵を受けたいので、できるだけ皆さんが公平に恩恵を受けたいので、できるだけ皆さんが公平に恩恵を受けたいので、

度をもつて終了というご協力を願います。何卒、ご理解



意見番号	関連箇所		町の考え方
	区分	頁等	
12-1	その他	その他	<p>サロンの活動について、課題はあるかもしれませんが、地域の自主的な活動として非常に大切であると考えています。</p>
12-2	活動計画書	31・77 ページ	<p>この度の行財政改革大綱においては、「果たして年額1,000円が適正な金額であるのか検証しよう」という観点から議論がスタートしています。「受益と負担の公平性の確保」が重要な視点となります。料金が安い方が望ましいですが、その場合には経費の不足分は町民全体の税金で賄うこととなりますので、サービスを利用する人と利用しない人とのバランスを考慮しながら、町の関与の必要性を明確にして、負担の公平性を確保しなければならぬと考えています。使用料については、町と受益者の費用負担割合を50%ずつとする事で検討を進めています。</p> <p>例えば旧佐久町公民館での学童クラブは、県補助金は除き町の一般財源として年間約2,062千円がかかっています。費用負担割合を50%とし今の利用者数で計算すると、1人当月2300円となります。従って本来であれば学童クラブの利用者負担は1人あたり月2300円ですが、子育て支援という町の施策の観点において、平成27年度から1人あたり月1000円としています。受益者負担の適正化及び町の施策の両面から検討した結果ですので、何卒ご理解を頂きますようお願いいたします。</p>
			<p>頂いたご意見とご提案（字句については原文のまま表記させていただきます）</p> <p>サロンという事業はやめた方が良いと思います。サロンは、嫁や近所の悪口を言っただけのもので、家でもできる血圧測定やテレビでもやっぴん健康の話や体操など、必要ないと思います。集まる人も運動できる人がほとんどです。実はそこに行かれない人の方が問題を抱えていることに、役場は気が付いていません。同じ人ばかりが参加していることをおかしと思わないのが不思議です。</p> <p>サロンに予算や人を使うなら、子育て支援にお金をまわしてほしいと思います。通学路説明会で、学童利用料を引上げると聞きお聞きしました。払うべきものは払います。保護者との意見交換会を開いて、このようにパブトークを求めたいと思います。今、消費税率について取り上げますが、議論なくして、一方的な値上げというのが多くなると、来年は統合のため間にも子どもが不安定になり、指導員には賃金を高め、子どもを受け入れ、誰もが安心して帰って来られるように、学童の午前中利用なども検討して、色んな人から広く料金を集めるよう考えたいです。</p>